

ODIPv3.3 修正パッチ (P1030300003742) リリースノート

2019/1/29

(株) インテリジェント・モデル

この文書は、ODIP™ Enterprise Solution v3.3 に対する修正パッチ (Build-id: 1030300003742) に関する修正を記述したものです。

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。
本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。
本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容.....	4
1. Midmost JDBC 使用時の削除処理の問題修正	4
B. 適用方法.....	5
1. パッチファイルの内容.....	5
2. ODIP アドミニストレータへのパッチの適用	5
3. ODIP トランスフォーマへのパッチの適用	6

A. 変更内容

1. Midmost JDBC 使用時の削除処理の問題修正

(1) 問題の概要

ODIP 製品の更新バージョン (1030300003622) のリリース後、処理モードを一括削除とする管理単位定義 (以下、一括削除処理といいます) を実行すると、実行ログには削除行数が出力されるものの、実際のテーブルの行が削除されない不具合が発生しました。

(2) 原因

一括削除処理では、一連の処理の中でデータベース接続クローズの操作が行われていましたが、Midmost JDBC を使用する場合、この操作によってトランザクションのコミットが行われなくなりました。更新バージョン 1030300003622 適用前は、一括削除処理の呼出し元であるメインの処理で、接続クローズ前にコミットが発行されていたことで問題は発生しませんでした。ODIP 及び Midmost JDBC への変更の適用によって、本事象が発生しました。

(3) 改定内容

Midmost JDBC を使用する場合、一括削除処理ではデータベース接続クローズの操作を行わないように修正しました。これによって、一括削除処理の終了後に、呼出し元のメイン処理において行われるコミットまたはロールバックの操作が機能するようになります。

(4) 利用者への影響

- ・ ODIP 定義内容、処理性能に対する影響はありません。
- ・ 本改定では、一括削除処理ロジックだけが改定されており、他の処理モード (標準、追加・更新・削除、データ複写) の処理への影響はありません。
- ・ 本改定では、Midmost JDBC 以外の JDBC ドライバを用いた処理への影響はありません。

B. 適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP アドミニストレータ v3.3 (1030300003622 適用済)
- ODIP トランスフォーマ v3.3 (1030300003622 適用済)

1. パッチファイルの内容

本パッチには、次のフォルダとファイルが含まれています。

フォルダ			ファイル名
ODIP33_P003572	lib	ADM	odpten. jar
		TFM	odpten. jar

2. ODIP アドミニストレータへのパッチの適用

- (1) ODIP アドミニストレータを実行中の場合は終了してください。
- (2) フォルダ lib/ADM 内の全ファイルを、ODIP アドミニストレータのインストールディレクトリ (デフォルトでは、“C:\Program Files\ODIP\Administrator” になります) 直下にある “lib” フォルダに上書きコピーしてください。
- (3) ODIP アドミニストレータを起動し、ヘルプメニューの “ODIP について” を選択し、下表の本パッチの更新対象ライブラリのビルド ID をご確認ください。本パッチの更新対象以外のライブラリについては、従来のビルド ID が表示されます。

名称	ビルド ID
Administrator	1030300003622
Component editor	1030300003622
Repository client access	1030300003622
Transformer client access	1030300003622
Common	1030300003622
Common user interface	1030300003622
Common database	1030300003622
Common model	1030300003622
Repository interface	1030300003622
Transformer engine	1030300003742^{*1}
Transformer common	1030300003622
Transformer repository	1030300003622
Deprecated models	1030300003622

*1 本パッチの更新対象ライブラリのビルド ID を示します。

3. ODIP トランスフォーマーへのパッチの適用

- (1) ODIP トランスフォーマー・サーバを実行中の場合は、“stopserver”コマンドを実行して、トランスフォーマー・サーバを停止してください。
- (2) フォルダ lib/TFM 内の全ファイルを、ODIP トランスフォーマーのインストールディレクトリ直下にある “lib” フォルダに上書きコピーしてください。
- (3) ODIP トランスフォーマー・サーバを起動してください。“showserver -i v” コマンドを実行して、下表の本パッチの更新対象ライブラリのビルド ID をご確認ください。本パッチの更新対象以外のライブラリについては、従来のビルド ID が表示されます。

名称	ビルド ID
Common	1030300003622
Common model	1030300003622
Common database	1030300003622
Transformer common	1030300003622
Transformer repository	1030300003622
Transformer server	1030300003622
Transformer engine	1030300003742* ¹
Transformer Client Commands	1030300003622

*1 本パッチの更新対象ライブラリのビルド ID を示します。

以 上